



〈新刊紹介〉法學士小島昌太郎著「保險卜經濟」

車谷，馬太郎

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 26(5):824-827

(Issue Date)

1919-05

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00053043>



新刊紹介

法學士 小島昌太郎著
保險ト經濟

菊版二三九頁
京都法學會發行
定價壹圓五拾錢

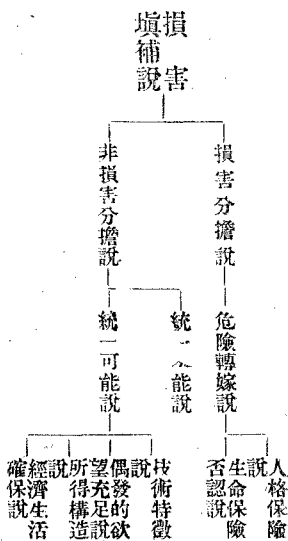
本書ハ保險ノ純理論的殊ニ經濟學的研究ニシテ近頃ノ好著述デアル、從來斯種研究ハ極メテ寥々タル有様デ本著ノ出タノハ偶以テ我邦斯學界ニ刺戟ヲ與フル強キ興奮劑タルヲ失ハナイ。私ハ此意味ニ於テ學士ノ勞ヲ多トスルト同時ニ一種ノ喜ヲ禁ジ得ナイモノデアル。

本書ハ全篇ヲ三章ニ分チ第一章ハ專ラ史的研究ニ充テ保險ノ起原、沿革ヲ詳述スルニ努メ次ニ合理的保險料ノ有無ヲ標準トシテ原始的保險ト現代の保險トヲ區別シ以テ本研究ノ對象ヲ明ニシテ居ル。

第二章ハ保險學史トモ稱スベキモノニシテ之レガ學說ヲ發展の順序ニ從テ一々論評スルコト詳細、兩端ヲ叩キ盡シテ餘ス所ガ無イ。即チ著

者ノ圖表ヲ示セバ次ノ如シ。

第五號 一四八



第三章ハ本書ノ眼目ニシテ保險ト經濟トノ根本關係ヲ論述シテ居ルガ先ヅ現代ノ經濟生活ノ不安定ナル所以ヲ說キ之レガ不安ヲ除去スベキ對策トシテハ豫防、鎮壓、防衛ヲ舉ゲ準備財産ヲ以テ之レニ次グモノトシタ、而シテ準備財産ヲ形成スルモノハ貯蓄ト保險トアレドモ保險ガ經濟準備トシテ最モ經濟的ナルノ理ヲ力說シ以テ保險ノ特質ニ言及シ次ノ如ク云フヲ居ル。

一、保險ハ特定ノ事件ニ關聯スル經濟生活ノ不安定ニ對シテ經濟上ノ保障ヲ與フルモノ

デアル。

二、保險ハ共通準備財産ヲ作ル仕組デアル。

三、保險ハ大數法ノ原則ニ從ヒテ共通準備財産ヲ作ル。

由來生命保險ハ保險學說ノ暗礁デアル。損害填補說ト云ヒ危險轉嫁說ト稱シ皆何レモ損害保險ヨリ出發シテ此暗礁ニ乘リ揚ゲルモノト解スルコトガ出來ヨウ。著者ノ苦心ハ此暗礁ヲ如何ニ避クベキカニアリシコト明ニシテ私ハ此點ニ於テ學士ガ十分ナル成功ヲ納メ得タルヲ祝スルモノデアル。

扱保險ノ本質ハ著者ノ云フ如ク經濟上ノ保障ヲ與フル一ツノ仕組デアルコトハ疑ナイガ保險ガ保險トシテノ特色ハ寧ロ其形式ニ存シハセスカト私ハ考ヘル。著者ガ所謂技術的特徴トシテ學ゲタ大數法計算ニヨリテ其保障ト保障獲得料タル保險料トノ割合ヲ定ムルコトガ保險ノ特色タル形式ダト思フ。故ニ生命保險モ損害保險モ

社會政策ノ一種タル勞働保險モ此形式ノ下ニ統一セラレテ保險タルベキモノデアツテ之レヲ除キテハ統一スベキ觀念ノ構成ハ難事業タルベキデアル。

私ハ保險ノ本質論トシテ著者ノ論ガ其内容ニ於テ悉ク正鵠ヲ失ハヌモノト信ジ、特殊事件ニ關聯スル經濟上ノ保障ト云フコトモ共通財産ヲ作ル仕組ト云フコトモ又夫レが大數法ノ原則ニヨリテ共通財産ヲ形成スルモノナルコトモ悉ク肯定シナガラ尙ホ且ツ形式說(?)ヲ云々スルノハ是等ノ各項ノ命題ニ對シ重キヲ置ク點ガ著者ト私ト異ルカラ起ツタ結果デアル。著者ハ保障、仕組、大數法ノ三者ヲ平等ニ見テ居ルガ私ハ特ニ其技術の方法ニ重キヲ置テ全保險ヲカバースル概念ヲ作ラント欲スルモノデアル。此見地ヨリスルトキハ契約說、損害分擔說、危險轉嫁說等ハ保險全部ノ概念タルベク主張シタ點ニ於テコソ缺點アルコト著者ノ云フ通りナレ保險學史

ノ一節トナリ過去ノモノトシテ葬リ去ラルベキモノデハナイ。是等ハ今日ニ於テモ各皆適切ナ解釋タルヲ失ハナイ、即チ保險行爲ノ當事者間ノ關係換言スレバ實際の方面ヨリ見レバ契約說モ尤デアアルシ損害ノ填補說モ眞實デアアル。又危險ノ轉嫁說ハ事件發生前ノ狀態ヲ説明シ損害ノ分擔說ハ事件發生ノ結果ニ就キ損害保險ノ性質ヲ闡明スル上ニ於テ有益ナ學說ダト信ズル。此說ガ生命保險ヲ説明シ得ルト得ナイトハ其價値ヲ減ズル所以デナイ。

著者ガ第一章ニ於テ詳述シテ居ル通り各保險ハ各其沿革上出發點ヲ異ニシテ居ルカラ之レガ内容ヲ統一スルト云フコトハ多少ノ無理ヲ免ナイ處デアアルガ此點著者ノ努力トGeneralizationノ力強キニ敬服ヲ禁ジ得ナイ次第デアアルガ、私ハ夫程ノ統一ヲセズトモ單ナル形式ヲ以テ統一シテモ大シタ差支ガ無イト思フ。此輕イ私ノ考ガ著者ノ内容論ニ賛成シテ置キナガラ別ニ形式ヲ

以テ統一ノ概念トナサント主張スル矛盾ヲ敢テシタ所以デアアル。

次ニ著者ハ準備財産ヲ構成スルモノハ所得ノ一部分デアツテ「現在ノ生産事業ヤ享樂的目的ニ要スル支出ヲ爲シ殘ル所ノ餘剩即チ收支剩餘ヲ蓄積シテ作成スルモノデアアル」ト大綱ヲ掲ゲテ置イテ扱夫ニハ貯蓄ト保險ト云フ手段ガアルガ偶發的事件ニ對スル經濟準備トシテハ保險ノ方ガ完全ナリト敎ヘテ居ル。私ハ保險トシテ準備財産ヲ構成スル淵源ハ保險料ダト解シ前說ニヨリテ保險料ハ所得ノ一部分タル剩餘金カラ構成スルモノト推論セバ、コレハ保險料ノ概念トシテ生命保險ニハ頗ル好都合デアアルガ損害保險殊ニ短期ノモノニハ當籤メルノニ多少ノ困難ガアリハセヌカト思ハレル、併シ此推論ハ私ガ勝手ニシタ推論デ著者ガ明言シテ居ルヲデナイカラ唯疑ヲ存スルニ止メテ置キ度イ。

又著者ハ反射的愉快及反射的苦痛ノ作用ヲ說

キ現代社會ニ於テ保險ナルモノ、存在スル心理の理由ヲ闡明シタノハ敬服スル所デアル之レハ、嘗ニ保險存在ノ理由タルニ止マラズ合理的保險料決定ノ標準ヲ心理的ニ測定シタモノト云ヒ得ヤウ、之レ恰モ勞働功程ヲ論ジテ其 optimumヲ求ムル理論ト好一徹ニ出タモノデ、人間ガ最少ノ勞費ヲ以テ最大ノ效果ヲ得ントスル思想カラ出發シタモノダト想像サレル。此理論ニヨルト保險ノ發達ハ周圍ノ不安定ガ益々増加シテ來タコトニヨリテ促サレタモノト解セザルヲ得ナイ seligman ノ如キハ如斯解釋シテ居ルガ、私ハ夫レノミガ唯一ノ原因ダトハ思ヘナイ。他ノ一面ニ於テハ著者ノ所謂反射的苦痛ヲ感ズルコトガ追々大キクナツタノデハアルマイカ、別言スレバ不安定ヲ感ズル度合ガ強クナツタノデアラウ如斯ハ人間ノ個性ガ漸次純粹ニナルト同時ニ又其智識ガ向上スルト同時ニ將來ヲ想フノ念ガ深クナルガ故ト解スルコトガ出來ル。Marshallガ

近世企業者ノ特徵ヲ說イテ self-reliance, independence, deliberate choice of forethought. ト云フタノハ是デアラウ。

要スルニ本書ハ近來稀ニ見ル好著デアツテ私ハ是ヲ大方ニ推薦スルノヲ以テ頗ル幸福ヲ感ズルモノデアル。(車谷馬太郎)